

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULIETIN

No.16

東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日
例 会 日 毎週月曜日 12:30～
例 会 場 所 シェパトン都ホテル大阪 3F
事 務 局 大阪市天王寺区石ヶ辻町2-8
〒543-0031 クレアツィオーネ上本町 704号
TEL : 06-6772-2320
FAX : 06-6772-2327
E-mail : hcrc@at.wakwak.com



会 長 小 川 高 弘
会 長 ノ ミ ニ 一 宮 田 照 男
副 会 長 金 子 勝 信
幹 事 中 村 徹
会 報 委 員 長 瀧 田 浩 彦

Rotary Serving Humanity

人類に奉仕するロータリー

2016～2017 年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

第 2029 回例会 平成 28 年 11 月 14 日 (月曜日) 第 16 号

本日の例会

1 1 月 1 4 日 (月) 第 2 例会

- ◎ソング 「限りなき道ロータリー」
- ◎卓 話 『運転みなおしセミナー』
- ◎ゲストスピーカー (株)ソフトスマイル保険
代表取締役 松葉 健一様
担当：浅野 光男会員

◎本日の献立 軽食カレー

次回の例会

1 1 月 2 1 日 (月) 第 3 例会

- ◎ 東大阪西ロータリークラブとの合同例会
- ◎卓 話 『ロータリー財団 100 年に因んで』
担当：柳山 稔地区委員

前回の例会

1 1 月 7 日 (月) 第 1 例会

会長挨拶代読

金子 勝信 副会長

鹿港ロータリークラブ34周年記念式典ご挨拶

鹿港ロータリークラブの会員の皆様、そしてご家族の皆様、創立34周年記念式典、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。この様なお祝いの席で会長としてご挨拶をさせて戴く事は非常に名誉な事と嬉しく思っております。貴クラブと我クラブが1985年6月30日に姉妹クラブ締

結をさせて頂いて、31年が経ちますが、とても素晴らしい友好関係が築けていることに感謝申し上げます。また、来年には貴クラブの創立35周年、我クラブの創立45周年を迎えます。来年の2017年2月20日には我クラブに於いて、鹿港ロータリークラブの会員の皆様、ご家族の皆様をお迎えして、45周年記念例会を開催させて頂きたく存じます。多くの方々がお越し下さることを楽しみに致しております。さて今年、4月14日、そして二日後の4月16日に二度にわたる熊本地震が発生しました。そのような時に逸早く貴クラブからの支援金の要請を頂き、大変感謝致しております。貴クラブからの支援金と我クラブの支援金を合わせ、式典記念誌の写真にありますように、8月3日に熊本の南阿蘇や益城町を含む総勢300人を超える被災者の方々を地元の水族館にお迎して楽しいひと時を過ごしていただき、被災者の方々に大変な感謝をして頂きました。心よりお礼を申し上げます、ありがとうございました。最後に成りますが、貴クラブの益々のご発展と我クラブとのより一層の友好関係が末永く続きますようにお祈り致しましてお祝いのご挨拶とさせていただきます。有難う御座いました。

幹事報告

SAA 岩橋竜介

1. 11月14日(月)11時30分より、5階サルビアの間にて、指名委員会を開催致します。パスト会長各位には宜しくお願い致します。
2. 11月の定例理事役員会は第2週の11月14日(月)に変更です。例会終了後、5階サルビアの間にて開催致します。理事役員会の皆様にはご確認をお願い致します。
3. 第2回情報集会の回覧を本日廻しております。出欠のご記入を宜しくお願い致します。

出席報告

飯田 政信 委員

本日の会員数	24名
本日の出席者数	12名
本日の出席規定適用免除会員	10名
本日の出席率	63.16%
9月26日の修正出席率	86.54%

ニコニコ箱報告

SAA 岩橋 竜介

- 百済会員 秋の家族会 クエ美味しかったです。
- 鈴木会員 シラス、有り難うございました。家内と二人で美味しく頂いています。
- 岩崎会員 10月30日、秋の家族会には、多数の方の参加頂き、楽しい家族会になりました。
- 細川会員 先日、和歌山での地引網体験では、孫達にたのしい思い出を作って下さり、岩崎親睦委員長には感謝です。ありがとうございました。
- 金子会員 岩崎親睦委員長、公德会ハロウィンパーティー、ゴルフ同好会、秋の家族会と大忙しの中、本当に有難うございました。そして、会員の皆様ご協力有難うございました。
- 佐井会員 釜揚げしらすを有難うございました。
- 岩橋会員 シラス、頂きました。ありがとうございます。
- 長堀会員 日にちが経っていますが、
「公德学園ハロウィンパーティー」
大成功でした。
会員の皆さま有難うございました。御礼申し上げます。

11月のお祝い

- 入会記念日 宮田 三木 細川 小川 金子 (各会員)
- 会員誕生日 宮田会員

○夫人誕生日 渡辺 定子様

○結婚記念日 近藤 佐藤 中村 (各会員)

○10月の内祝いニコニコ 累計 257,500円

○10月のニコニコ箱 20,000円 累計 443,000円

卓話

細川 勝治会員

『世界と日本の石油事情』

今日の卓話は、私の仕事を通しての今日、我々が日常生活には欠かせない石油についてお話をしたいと思います。まず、石油とは炭化水素を主成分として他の少量の硫黄、酸素、窒素などさまざまな物質を含む液状の油で鉱物資源の一種である。地下の油田から採掘後、ガス、水分、異物などを大まかに除去した精製前の物を特に原油と言う。成分は、天然ガス、ナフサ、灯油(ケロシン)軽油、残油(ピッチ)などに分けられます。

現在、日本での生産量は、年間98万キロリットル程度で国内消費量全体に占める比率は0.3%に過ぎません。

一方、原油の輸入量は国内消費量全体の99.7%、2億5460万キロリットルであります。

輸入相手国は、上位よりサウジアラビア、アラブ首長国連邦、イランカタール、クウェートなど中東地域からが全体の87%を占めています。

石油業界は、1996年の特定石油製品輸入暫定措置法(特石法)廃止、ついで2002年1月の石油業法廃止によって完全自由化されました。

特石法廃止により我々販売業者は、今日の乱売競争になり経営が著しく悪化し、特石法施行前では6万軒、GS件数が今では約半分の3万軒に減少しているのが現状です。

原因は、特石法廃止以外には次の要因も考えられます。

- ・若者の車離れによる販売減。
 - ・エコカー、ハイブリットカー等による燃費向上による使用減。
 - ・日本国内の景気の低迷による使用減。
- 等であります。

それらの要因で、GS業界に於いてはSSのクローズが一気に加速しました。

大阪府下のGSの数も、特石法前では2100SSが現在では900SSに減少しているのが現状であり、まだ少し減少すると思われれます。

今後は、店舗減少によりSSに行くのが遠くなり、日本海側では隣町まで20kmあり、特に灯油のシーズンでは大変で社会問題となっているそうです。

石油には、10当たりガソリン税53.8円、軽油税32.1円、ジェット燃料航空機燃料税は26円、更に販売段階に消費税8%が加算されています。

その結果、例えばガソリン10には揮発税を入れると約56円の税金がかかっている計算になります。

また、販売時にかかる消費税は、税に税を掛けた二重課税（ダブルタックス）であり、物議を醸しています。私、個人的には納得していません。

原油価格は、今現在ノバーレル（1590）50ドル前後ですが、今後の見通しでは、オペックの減産協議が合意され、原油の先物が急騰していますが合意が破られる事が多々あるので予断は出来ないのが現実です。

世界第二位の、産油国であるロシアの動向が気になる所です。

ロシアの原油は近隣国ウクライナを初め、ヨーロッパ各国にパイプラインを通して輸出していますが、唯一の財源である原油価格が今ひとつ低迷しているので国内経済は良くありません。

一方、アメリカがシェールガスを採掘したので、今までは石油の輸入に頼っていましたが、一転して輸出に転じたので需要供給のバランスが崩れて来ました。

その中で今後は、世界的な地球温暖化により先進国途上国において温暖化削減協定が決まり、今後より一層エネルギーのエコ化等が、加速すると思われます。

米山奨学生 グオバツキ、ヤクブ ポイチェフ

私がこの二年間半日本に留学している間、たくさんの留学生に出会えました。ヨーロッパ、アメリカ、アジア、様々な世界の国々から様々な理由を持って、日本にやっけてきている留学生の話を知ることができました。日本に関心を持ち、日本を実際に見たい、新しいことに挑戦し、知らない文化に体験したい、または外国語、日本語の能力を伸ばしたくて、外国人とコミュニケーションを取りたいという人もいます。もちろん、また違う分け方も考えられます。日本には興味はあるけど、留学が終わったら自分の国に帰りたいという人がいれば、日本の社会、文化、習慣、言葉に習得し、日本の社会の一員として日本に暮らしたいという人もいます。

私がどれに当てはまるか聞かれたら、外国語力を伸ばしたい、日本を体験し、日本の社会の一員になりたいと答えます。日本で留学するのは何が一番楽しいと聞かれたら、毎日日本語、または英語を使えると答えます。そんな環境に置かれるとしんどいとか、外国語が難しいとかいう人もいるかもしれませんが、私にとってそれが一番報われるところです。難しいからこそ、外国語で自分の思想を相手がわかるように伝えることに成功するほど楽しいことはないと思います。さらに、何年かを重ねて努力した結果がまさにその言葉を使う環境にいて自分の実力を試すときです。外国語ほど実践的な知識がないと思います。

さらに誰かに、日本での留学で一番大変、難しいことは何と聞かれたら、柔軟でいることと答えます。ポーランド人として日本に住むということは、日本とポーランドの文化の狭間にいることだと思っています。日本の社会の一員になりたいからには、日本の習慣を守り、自分の今までの常識や考え方、確かだと思っていたことなどを考え方のただの一種類に過ぎない、新しい考え方を常に受け入れられる、柔軟な態勢でいえないといけません。といっても、私はまだポーランド人であり、自分のポーランド人としての意識も忘れてはなりません。唯一か間違っているという文化や常識など存在しないと思うことが私の思う柔軟さです。

このように、私は日本に来てからもうほぼ3年が立ち、この間で私が何を得られたのでしょうか。3年前の自分と今の自分を比較すると、確かに日本語、英語の力が伸びました。しかし、それだけではないと思います。まず、自分が生まれてきた文化、ずっと当たり前と思っていたことを改めて見つめなおすことができた。面白いことだと思いますが、日本に来て初めて、ポーランドという国はどんな国なのか、世界でどんな立場にあるのかということを知ることができました。さらに、こんな背景の多様な沢山の人に出会って、その人たちを通して、自分とはどんな人間なのか、何ができる、できないのかをもうちょっと知ることができました。そして、小さな町で生まれ育った私にとってもっと広い世界に出て、やっ自分国際人としての意識するようになりました。様々な触れ合いや活動のなかで基本的なコミュニケーション能力が身についただけではなく、国際的なコミュニケーション

というものはどれほど楽しいものなのかわかりました。さらに大学の様々な機会を通して、グループワークしたり、発表したり、自分ひとりで授業したりして、このようにもうちょっとだけ人の前に立って話せるようになりました。たくさんの日本人と親しむことによって日本の目に見える習慣や文化などについての知識を深めただけではなく、一目では見えない、けっして教科書に書いてない日本人の本質をもうちょっとだけ理解できたと思います。

このようなことができたのは、私を支えてきた人がいつもいたからです。現在もロータリーの支えのおかげでもっとたくさんの体験ができます。これから、社会人になって、日本の社会の本当の一員になったときに違う人にも私と同じような体験ができるように頑張りたいと思います。



鹿港ロータリークラブ 34 周年記念式典参加報告

11月5日から7日迄、台湾・鹿港 RC34 周年記念式典に、小川会長、佐藤会員、浅野会員、三木会員、そして今回初めて参加の中村幹事、飯田会員、伊藤会員の7名が参加されました。

